

キャッチフレーズ

<ス>んで良かった、豊かな<マ>イライフ、自然が<イ>っぱい、  
<ル>すが安心、四季の彩を感じるまち“北陵”  
ほくりょう

## 現状 1 地域の現況と人口推計

### (1) 位置と地勢

市の北西部に位置する北陵小地域は、昭和45年から平成15年まで、日生ニュータウンとして大規模な宅地開発が行われた、緑豊かで閑静な住宅地です。

地域の南側には能勢電鉄が通っており、西側にある日生中央駅が地域の玄関口となっています。

また、市内でも比較的標高が高く、坂道が多い地域です。



### (2) 人口と世帯

人口は、平成17年の6,731人から平成22年の7,860人まで5年間で16.8%増加しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、35～39歳が最も多く、続いて60～64歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成18年が2,330世帯、平成23年が2,831世帯と5年間で22%増加しています（全市では6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10年後の平成34年にはおおむね8,100人となり、3%ほど多くなる可能性があります。【右下図】



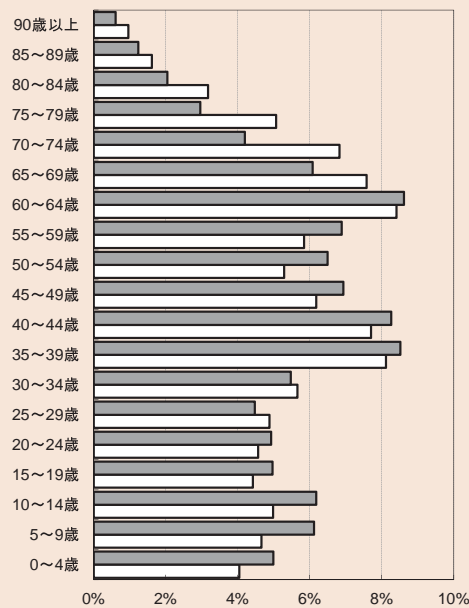
## めざす地域像

北陵小地域は、自然環境に恵まれ、美しい夕日やまちへの眺望を堪能することができる地域です。街路樹をはじめ緑が多く、整備されたグリーンベルト\*の歩道など、緑豊かな街並みが守られています。

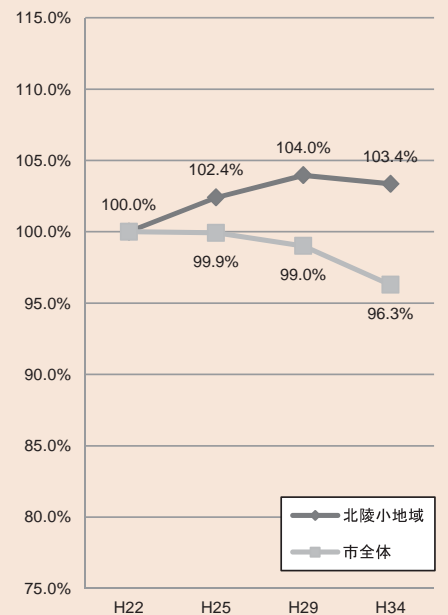
また、多目的広場や深山池公園など地域の憩いの場となるパブリックスペース\*が充実しているほか、地域に根差して活動している組織も多く存在します。

今後は地域のつながりを強め、高齢者が安心して暮らせるまち、子どもがいきいきと育つまち、いつまでも美しいまちを創ります。

人口構成



将来人口推計



人口全体を母数とする割合で表示  
上段：北陵小地域 下段：市全体  
(H23 住民基本台帳)

(住民基本台帳ベース)

## 現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

### (1) 地域の主な資源・地域活動

#### ① 主な資源



#### ② 主な地域活動

- ・子ども会で行う三世代交流
- ・北陵ふるさとまつり
- ・虫の声と音楽の夕べ
- ・体育祭
- ・高齢者のためのバスツアー
- ・あるけあるけ運動
- ・北陵子ども大学
- ・自然観察会
- ・里山をたずねて自然とふれあう
- ・放置自転車がなく美しい駅前  
の維持活動
- ・児童見守り隊
- ・人権講座、講演、啓発

### (2) 市民意識調査 (北陵小地域集計)

#### ① 定住意向

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、64%となっています。

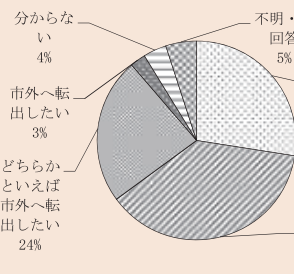
一方で、中学生では、27%となりました。

#### ② 施策の重要度・満足度

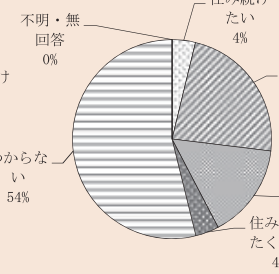
重点課題として「高齢者の支援」「公共交通の利便性向上」などが挙げられています。

また、継続推進すべきこととして、「省資源・リサイクル」、「上水道の安定供給」などが挙げられています。

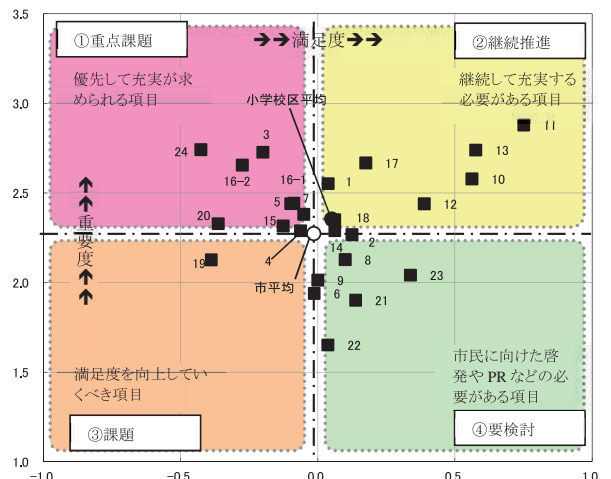
地域住民 (N=80)  
Q これからも川西市に住み続けたいと思いますか？



地域の中学生 (N=26)  
Q 大人になっても川西市に住み続けたいと思いますか？



①重点課題	②継続推進
3.高齢者の支援	1.健康づくりの支援
4.障がい者の支援	10.環境の保全
5.子育て支援	11.省資源・リサイクル
7.学校教育環境の整備	12.公園・みどりの整備
15.市街地整備	13.上水道の安定供給
16-1.交通施設の整備	14.都市計画の推進
16-2.公共交通の利便性向上	17.防災力の向上
20.労働環境の向上	18.生活安全の推進
24.効率的な行財政の運営	
③課題	④要検討
19.産業の振興	2.地域福祉の推進
	6.低所得者福祉
	8.青少年の育成
	9.生涯学習・文化の振興
	21.観光の振興
	22.共感・共生のまちづくり
	23.参画と協働のまちづくりの推進



## 地域の課題とありたい姿

## 地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、北陵小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

## 暮らし

## ◆…主な課題…◆

- ・街路樹、植栽帯を大事にし、美しい景観を保つ必要がある
- ・子どもがもっと自由に遊ぶことのできる広場や公園等が必要である
- ・坂道が多いため高齢者の移動手段（公共交通）をもっと充実する必要がある

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・地域に緑があふれ、街並みが美しく整った景観にしたい
- ・多目的広場や公園を活用して、バザーなどのイベントや子どもたちがのびのび遊べる場をつくりたい
- ・道路は広く、移動手段が充実した、みんなにやさしいまちにしたい
- ・「北陵は良いまち」だと言ってもらえるような街並みにしたい

## 安全安心

## ◆…主な課題…◆

- ・子どもから高齢者までが安心して暮らせるような環境づくりが必要である
- ・高齢者の見守りや支援が必要である
- ・犬のフン等の始末などマナーが悪くなっていることが問題である

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・空き巣の入らないまちづくりを進めたい
- ・子どもから高齢者までが安全安心に暮らすことができ、マナーを守って快適な生活ができるようなまちにしたい

## 生きがい

## ◆…主な課題…◆

- ・保育所等の施設の充実など子育て環境を充実する必要がある
- ・リタイヤ後、比較的時間のある高齢者がもっと地域活動に参加できる環境をつくる必要がある

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・地域と学校が連携し、人づくりと世代を超えた交わりのあるまちにしたい
- ・地域で子どもを育てていけるまちにしたい
- ・仕事で鍛えたノウハウをリタイヤ後に地域で生かせる場をつくりたい

## つながり

## ◆…主な課題…◆

- ・子どものいたずらに無関心であるなど、以前は守られていた公共性やモラルの低下が問題である
- ・自治会未加入者の増加や役員の高齢化などの問題を抱えているため、今後の自治会のあり方を考える必要がある
- ・老若男女問わず地域の住民が気軽に集え、おしゃべりやちょっとした休憩ができる場所が必要である

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・世代を越えた関わりを通じて、地域で子どもを育て、モラル向上に取り組めるまちにしたい
- ・交流の場としての多目的広場等の活用やあいさつの奨励により、地域のつながりを育ていきたい
- ・「虫の声と音楽の夕べ」やコミュニティハイキングなどのイベントに、若者をはじめたくさんの人が参加し、盛り上がるまちにしたい

## 地域のありたい姿を実現するための取り組み

## 地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、北陵小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

## 暮らし

- ・景観と防犯を意識した樹木の高さの設定
- ・イベント等に向け多目的広場・深山池公園の使い勝手を良くするとともに、活用の拡大を検討
- ・休憩やおしゃべりができるポケットパークの整備 ・団地内におけるふれあいバスの運行

## 安全安心

- ・防犯カメラ、センサーライトの設置 ・地域における見守り体制づくり
- ・課題の発見などを目的とした地域ウォーキングの実施

## 生きがい

- ・地域の様々な世代の人が学校行事に参加できるような機会づくり
- ・学校と連携し、子どもへ地域行事に参加してくれるよう呼びかける
- ・イベント等への若者の参加の呼びかけ

## つながり

- ・いこいこ北陵、いこいの家、スマイルの会などの交流の場の充実
- ・役割分担により、公園や多目的広場を地域で管理する
- ・地域住民の人材バンク\*の取り組み拡大
- ・引越時における「ご近所便利袋」の配布と自治会加入のメリットの案内

## 市の主な関連する施策(参考)

- ・施策 1 良好な都市環境を整備します
- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 8 総合的な交通環境の向上を図ります
- ・施策 10 ふるさと団地の再生を推進します
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します
- ・施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 32 明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策 33 すべてのこども・若者の逞(たくま)しい成長を社会全体で支援します
- ・施策 35 こころ豊かな児童・生徒を育みます
- ・施策 39 市民の学びを通して地域社会を支えます
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します